

NTT労組・退職者の会大阪支部協会報

摂河泉の目

安心・信頼、生きがいあふれる21世紀、みんなと共に！

2015年7月15日(通算98号)

NTT労組退職者の会・大阪支部協議会
発行責任者 中井 秀禮
編集責任者 藤直 数隆

〒553-0003
大阪市福島区福島3丁目1-73
コミュニティプラザ大阪内
Tel.(06)6451-8100 Fax.(06)6136-8126

つながって
ささえあう社会へ
参議院議員



石橋みちひろ



沖縄の声を聴け

2015沖縄ピースデー

ますます戦争法案の道をガムシャラに進もうとする安倍政権、翁長沖縄県知事をはじめ沖縄県民の声を聞かざる、ひたすら辺野古基地建設の道をひた走る。大阪支部協会は今年も情報労連主催の「2015沖縄ピースデー」に二名がオプジーバ参加を行いました。



三〇名と共に、慰霊祭に出席し、皆さんからお預かりした千羽鶴を献納しました。三日目は朝二番にて一二六段の階段を登り、嘉数高台から普天間基地を一望し、オプジーバを始めて自分の目で確認し、トーチカ壕等を見学し、姫百合の資料館へ移動した後、平和公園資料館にて、昼食後見学し二日目を終了。



他人事ではなく自らの事として考え、共に、痛みを分かち合う心と感性は、平和を望む願いを全ての仲間と共に有していけばよいと思う。

鎮魂と恒久平和への思いを新たに

井上 康 (なにわフロッグ)
連合「2015平和行動in沖縄」の幕開け。一連の歓迎セレモニーの後、場所を変えて情報労連主催の2015沖縄ピースデーの団結式、平和学習として戦後七〇年記念講演「浮城陳開船対馬丸の悲劇」を学習して一日目を終了。

二日基地の目は薄曇りの中、嘉手納町東久浜公園から八重島公園までの約一〇キロの嘉手納基地周辺道路をシェアレヒコルしながら行進しました。行進途中で、米軍機の離陸騒音の凄さに驚きました。

これでは「抑止力」に名前を借りた沖縄の米軍基地をダムやサイパンなどに移設、または県外移設するなど、縮小整理されなければ沖縄県民の静かな平和な日々は帰ってこないと思います。

戦後七〇年を迎えるに当たって私たちは改めて沖縄戦で亡くなられたすべての方々に心から哀悼の意を捧げ、戦争がもたらした悲劇、非人間性の真相を強く心に刻み、鎮魂と恒久平和への思いを新たにしました。

いきいき講座開講式を終えて

今回の講座運営の特徴は、各フロッグから選出した運営委員八名とその都度運営委員会を開きながら資料作成、進行表(シナリオ)、会場準備などを行っています。

開講式の同会進行は、河内フロッグ運営委員(薄田さん、掛川さん)で、時間調整や進行管理など手際よく実施されました。第一回及び第二回担当の運営委員さんからの感想を掲載します。(九月号では、北摂・なにわの運営委員さんの感想を掲載します。)

記念講演は「NTT労組の政治方針と今後の課題」

開講式の記念講演の講師は昨年度に引き続きNTT労組関西総支部橋本執行委員長に依頼しました。タイミングよく前日の通称「大阪都構想」の住民投票で勝利したことにも触れながら、「NTT労組の政治方針と今後の課題」をテーマに、大阪では大敗しました統一地方選挙の推薦候補の選出の基準や、支援内容等についてわかりやすく説明がなされた後、NTT西日本と競合他社との関係が激化している現状と対応について、また非正規社員が拡大する中での労組の組織化への困難さなど語られました。

第二回は、①相続に関する課題②新保険制度 MYセーフティの学習会を行い開講式を終了しました。

実行委員からの一言

頑張っておられる実行委員の皆さんに一言書いてもらいました。

高野山まで

青木育夫・中村しづ子 (泉州フロッグ)
いきいき講座も第二回と進みましたが、第一回二回の講座を少し振り返ってみました。運営委員全員は一丸となって多くの会員さんと「共に」を合言葉に楽しい講座を作る事を目標にしました。当然、司会受付、資料配布などを進めて来たのですが、実は、いつも頼りになる「幹事会のメンバーさん」のお力を借りています。ありがたいサポートに感謝の連続です。

二回を受講された方々のお顔が「いきいき」され、また一方で質問されている方の熱意が伝わって来ました。

「いきいき講座」まさに健康寿命を延ばすには、楽しく、元氣よくそして

教養「今日・用」、教育「今日・行く」
今後もういこうなチームや課題を模索しながら多くの会員さんが気軽に参加できる講座内容を目指します。のでご支援、ご協力をお願いします。高野山まで頑張りますよ。

来年に向けて

薄田正一 (河内フロッグ)
今年度は、一二〇名の参加となりました。多くの受講を頂き有難うございます。開講は、四回少ないですが、内容は充実させるよう講師との打ち合わせ等に努力中です。

次年度は、総会終了後から検討して健康、歴史、生活の知恵等も含めると多くの方の参加が望めます。参加お待ちしております。

【いきいき講座】進行中です
掛川つねみ (河内フロッグ)
初めて「いきいき講座」を受講したのが、舞妓さんの踊りを見ながらの食事会その後「都をどり鑑賞」に参加したと記憶しています。

現役時代の懐かしい仲間のお顔を見つけ、旧交を暖めあったのが講座のスタートでした。

今回の講座は、運営方法を高め少し見直し、企画運

星のかがや 中間報告

350名 550,000円

ご協力ありがとうございます

終戦日が近づくと度々、苦し思い出が頭をよぎります。一叔母さんごは「お替わり下さい」「手伝いも碌にしないで一杯目を食く」と言われ、そこを手を引込み、いつもお腹を空かせていた八歳の頃を。▶私と同年代の幼き頃は戦争の体験こそないが、親元や友達とも離れ、集団疎開や縁故疎開をした悲しい思い出が昨日のように甦ります。▶これも又戦争の犠牲者です。このような体験をした七、八歳の子供達も今は八十歳前後の年齢となりましたが、重要な任務が課せられています。▶今、衣食住は手の届くところに豊量にあり、ややも、すれば、あの悲惨な戦争時代を忘却する懸念が窺えるほど平和であると、錯覚する世の流れですが誠にそうなのか。政治家たちは美辞麗句を並べ、独断的に振舞っている、その真する狙いはどこにあるかを、しっかりと見極めねばならない。▶国会では安保関連の法案が提出され憲法九条を始めとし、平和国家の針路を大きく曲げる集団的自衛権の旗振りを始めた、平和をおびやかす方向にある。▶憲法を守るのは国民であることに、しっかりと向き合っていかなければならないと思います。今は亡き被爆者詩人、栗原貞子さんの「悲惨な戦争から目を反らす悲劇は自分たちで終わらす」この言葉を次の世代に引き継ぎ平和を守る事こそが、私達国民の任務と心に誓っています。(K・K)

雑六記

終戦日が近づくと度々、苦し思い出が頭をよぎります。一叔母さんごは「お替わり下さい」「手伝いも碌にしないで一杯目を食く」と言われ、そこを手を引込み、いつもお腹を空かせていた八歳の頃を。▶私と同年代の幼き頃は戦争の体験こそないが、親元や友達とも離れ、集団疎開や縁故疎開をした悲しい思い出が昨日のように甦ります。▶これも又戦争の犠牲者です。このような体験をした七、八歳の子供達も今は八十歳前後の年齢となりましたが、重要な任務が課せられています。▶今、衣食住は手の届くところに豊量にあり、ややも、すれば、あの悲惨な戦争時代を忘却する懸念が窺えるほど平和であると、錯覚する世の流れですが誠にそうなのか。政治家たちは美辞麗句を並べ、独断的に振舞っている、その真する狙いはどこにあるかを、しっかりと見極めねばならない。▶国会では安保関連の法案が提出され憲法九条を始めとし、平和国家の針路を大きく曲げる集団的自衛権の旗振りを始めた、平和をおびやかす方向にある。▶憲法を守るのは国民であることに、しっかりと向き合っていかなければならないと思います。今は亡き被爆者詩人、栗原貞子さんの「悲惨な戦争から目を反らす悲劇は自分たちで終わらす」この言葉を次の世代に引き継ぎ平和を守る事こそが、私達国民の任務と心に誓っています。(K・K)

全国交流集会に参加して

5月12日(火)～14日(木)
熱海で開かれた全国交流集会に大阪支部協から5名が参加し、全国の仲間と楽しく交流を行いました。その模様、感想等に参加者に集まってもらい座談会を行い、語ってもらいました。

出席者 益岡 南岡 藤田 竹村 美原 会
勝(事務局次長) 清岡 文治 いざを 正
藤田 数隆 事務局局長

自己紹介と交流会に参加した動機等

司会 「今日は五月にしては、大変暑い中、全国交流集会座談会に出席して頂き、誠に有難うございます。今日は、フリートークで何でも結構ですので、感じた事、楽しかったことなどを発言して頂きたいと思っております。まずは、自己紹介と交流集会に参加した動機等、よろしく願い致します。」

全国の地方の言葉、夜の懇親会で交流を図れた

美原 「なにわブロック委員の美原です。今回は、初参加者となる事でブロックの事務長から打診があり、なにわブロック長からも指名され、またブロック委員会でも全員の後押しがあり、行く事になりました。交流集会では、全然知らない人ばかりでしたが、直ぐに馴染むことが出来、全国の地方の言葉、或いは

夜の懇親会と交流を図ることが出来て、大変良かった。

事前研修会が良かった

藤田 「泉州ブロックの藤田です。私も、交流集会参加は初めてという事で、ブロック長より、一年ほど前から打診があり、ブロック委員になってから二年目と日が浅く、新人委員として交流集会へ参加する心の準備は、出来ていました。交流集会という事で全国の支部協の活動状況等、取組みの話を聞くだけで、勉強になりました。また、大阪支部協で参加者全員(五名)を集めて、事前研修会をして頂いたのはとても良かったです。と思っています。」

美原 「私もそれは良かったと思っています。ブロック毎の会員数及び、支部協の活動状況等、詳細に事前把握をする事で心の余裕と云うか、自信が付きました。」

趣味の写真を撮ろうと気楽な気持ちで参加

南岡 「河内のブロック委員の南岡です。ブロック委員になって五年目であり、過去の会報「摂河泉OB」の記事を読むと、そろそろ私の順番が来ると思っていました。カメラが趣味で熱海へ行っている風景の写真を撮ろうと気楽な気持ちで引き受けました。」

退職者の会の仕組みなどわかり大変良かった

竹村 「この二月に北摂のブロック委員になった竹村です。直ぐには行けなくても良いと思っていました。ブロック委員会の中で突然指名され、びっくりしました。正直言って、退職者の会の仕組み、または、活動、運動方針等、全然分からない事はかなりのことと云って見込みにしている人と隣に座っている人から、会員手帳と支部協が作成してくれる、資料さえあれば絶対に大丈夫と云って、背中を押してくれましたので行く決心ができました。結果として行って大変良かった事と全国の仲間と交流ができて良かったと思っています。また、あとから述べますが初めての人が参加する事は退職者の会の仕組み、活動、現状等がわかり、大変良いことだと思います。」

藤田 「私も同感である。

いわば、新人役員の研修会と云っても過言ではないと思ひ、参加する事により人の輪が広がる。来年、参加する人には絶対に参加しなさいと自信を持って進められるほど、有意義な交流集会であった。」

大阪のマッサンとして責任者として参加

益岡 「私は今年度から事務局に入り、事務局の中で交流集会未参加者は、私だけであり、参加の命が下るであろうと思っていました。案の定、中井会長からなにわのマッサンから大阪のマッサンになった以上、責任者として行つて来いと言われ、参加する事になりました。」

交流会に参加して一言

司会 「はい、有難うございます。皆様方の自信ありげと云うか、人間的に廻り、大きくなったような感じがします。それでは次に、一日目の摂河会長の挨拶から夜の交流会迄、何かあればよろしく願い致します。」

石橋氏の課題を挙げてのお喋りは理解が出来た

益岡 「吉川さおり参議院議員の挨拶を受けました。が、少し、関西調の早口で理解し難い面もありました。今度、顔を会わした時に、その事を意見として云って上げようと思っています。」

ます。石橋みちひろ参議院議員の講演は、まず、最初に話したい項目を何点か課題として挙げ、そのひとつ一つについて聴衆の理解度を確認しながら喋っていたので非常に理解が出来た。」

機会があれば石橋議員に講演を

藤田 「私も、石橋議員は面識もなく、あまり知らなかったが、今回の講演を聞いて、大変、好感を持ちファンになりました。機会があれば関西の方へ来て講演なり、イベントに参加してほしいと思います。」

河内意頭が少し重荷であったが目的は交流といわれ気が楽になった

南岡 「行く前から、大阪は夜の交流会は河内意頭を踊ることが恒例になっている事から、その事が少し、重荷になって気が晴れなかったが、開会の西澤副

会長の挨拶の中でこの集会の主な目的は交流であると笑いながら云って頂いたので、少し、気が楽になりました。」

益岡 「相馬副執行委員長の話もNTT労組の現状と課題については、「多様な雇用形態に合わせた対応が必要であり、それぞれのニーズに応えられるよう会社対応をしなければならぬ」と云っていました。」

石橋議員も残業代ゼロ法案等について憤りを持って話された

南岡 「先ほどの労働条件ですが、石橋さんも講演の中で残業代ゼロ法案等、労働法案改悪についても憤りを持って、話をしていました。今の派遣法に改正したのは小泉と竹中であるが、それに呼応した会社も責任(一般社員、の減少に伴う非正規社員の増加)の一端は有ると思う。」



美原 「私たちの時代は、九五%以上が正社員であり、一部、新入社員の一定期間、見習社員(使用人)制度があった程度で、今の様な、雇用形態の多様な等、複雑で理解し難い事は違った。」

基調報告と分散会について一言

司会 「二日目の基調報告【NTT退職者の会の概要と当面する課題】から各分散会に参加して、それぞれの支部協の特徴的な事例、活動、取組み等がありました。お願い致します。」

石原事務局長の基調報告で再認識できた

益岡 「基調報告では、石原事務局長から講演を受けましたが、私自身が退職者の会の立ち上げから関わってきまので、再確認の意味で再認識できました。当初発足時は四〇〇〇人からスタートし、現在十二万人と今や、現役組合員を超える支部協が教支部であると云っていました。」

有意義な新人研修だったと感じた

竹村 「私は、退職者の会の発足時から歴史的な事柄も含め、NTT労組との関わり、現・退一致の必要性、財政事情等、様々な事が勉強になり、有意義な新人研修で有ったと感じている。」

会報費の手配りに関心

益岡 「私の参加した分散会では、会報の手配りを全域にわたって毎回行つて

いる支部協がありました。びっくりして、もう一度、能く聞いてみると全域ではなく、一部の密集地域を軒並み実施しているとの事でした。他の支部協においても会報の手配りについては、前向きで意欲的な支部協が多かったです。東京支部協については、一六〇〇件の会員宅へ年六回手配りをしているとの発言がありました。」

電友会との合同イベント等について

南岡 「東京の支部協は職域で構成されており、会員の居住地と支部協の拠点は遠く離れている。よってイベント、支部協主催のシク等の取組みについては困難をきたしているのが事情である。また、他の支部協では、電友会と合同でイベント等、開催をしているところもあり、少し「？」と云う気がした。」

益岡 「私の分散会でも電友会と退職者の会の会長が両方兼ねている所もあり、びっくりした。また、社報連絡についても、電友会と合同で活動をしている所は、即、個々に連絡をしている。退職者の会は会報に一括掲載しているので情報としては、遅れがちな

竹村 「私の分散会は、情報労連と一緒にイベント等、取組んでいる支部協がありました。また多くが幹事や副会長など役職付きでした。女性の会員が入っていないとの声もありました。」

個人情報もあるが名簿の活用としては

藤田 「名簿等、個人情報保護法との関係もあるが名簿を活用して連絡体制、安否確認等に利用するようにはならないか？」

益岡 「私も、これから手配りを始めるところであり、地域のマッサンにプロットしている所です。」

大阪部構想の住民投票について発言

美原 「私の分散会もタオルを支部協独自で配布している所もあった。また、運動会等、家族ぐるみで取組みを実施しているところもあった。また、平和行動については一般会員に対し、公募して取り組んでいることも発言してきました。さらに特別な事として住民投票の事についても発言しました。」

全体を通じて一言

司会 「最後に全体を通じて何かあればよろしく願います。」

益岡 「退職者の会の会員は、年の割に元気な人が多い。前日の交流会であれほど、飲んで、食べて、遅くまで喋ったのにあくる日の研修会では、誰一人として居眠りをしていない人がいなかった。また、二日目の交流会も平然と参加しており、体力、知力、行動力、全において前向きで意欲的であった。」

竹村 「摂河会長から各支部協において会報を送るだ(3面へ続く)

